

どんな農園づくりたい!? ワークショップ 南平の「新しい市民農園」だより vol.3

第3回「南平の活動について考えよう！」

2024.11月発行
一般社団法人TUKURU

10/27(日)第3回ワークショップ 生活・保健センターにて開催しました！

来年度から新しく生まれ変わる南平市民農園。
だれもが楽しく参加しやすい市民農園にしよう！とワークショップが始まりました。
第1回(8/17)「交流型の農園について知ろう！」
第2回(9/8)「交流型の農園を体験しよう！」を受けて
今回は来年度からの南平市民農園の活動について、
主催者がこれまで2回のワークショップで出た参加者の意見を踏まえて作成した
「新しい南平市民農園のデザイン案」と「運営方法などの案」をたたき台に話し合いました。



新しい南平市民農園のデザイン案

※これまで2回のワークショップで出た参加者の皆さんの意見を踏まえて作成。

個人区画エリア

従来の20㎡区画の加えて、初心者むけの10㎡区画・保育園など団体むけの30㎡区画を新設したい。

倉庫

※2026年度以降に検討
農具を保管する倉庫が必要。今は使っていない小屋を使えないか。



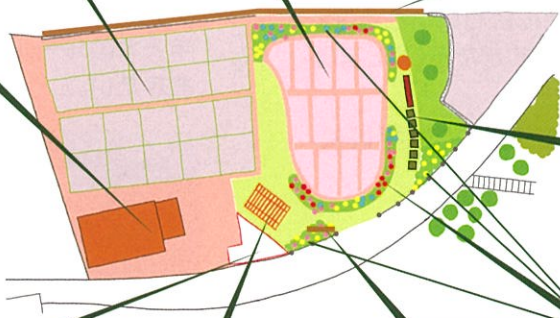
ビオトープ

※2026年度以降に検討
サワガニもいるきれいな湧水！
ビオトープづくりワークショップをやってみよう。



交流区画エリア

作付けや農法などは、参加者が相談して決める。たとえば、場所をとるカボチャや収穫際のできるサツマイモ。コンパニオンプラントや有機農法、雑草農法などの実験など。



パーゴラと休憩スペース

パーゴラやテーブル・ベンチをつくるワークショップを行なう。ブドウなどを植えて果実も楽しむ!!



掲示板

イベントのお知らせや活動紹介の通信などを掲示する。



フェンス (市が設置を検討中)

段差があって危険なためフェンスを設置する。ブラックベリーやラズベリーなどのベリー類を這わせたい。



堆肥づくりスペース



ガーデン

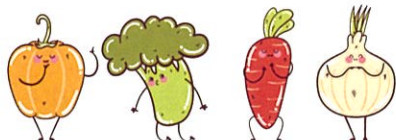
※2026年度以降に検討
花やハーブの花壇をつくりたい。手入れが楽な宿根草中心のナチュラルガーデンに!!



運営方法などの案

※これまで2回のワークショップで出た参加者の皆さんの意見を踏まえて作成。

- ★ 個人区画の利用者は、いままで通り市民農園を利用できるほか、
- ・ 交流区画の休憩スペースや堆肥置場を利用できる。
- ・ 交流区画の農具も使用できる。
- ・ 交流区画のイベントや定例活動にも自由に参加できる。



- ★ 交流区画の定例活動日は、毎週土曜日9～12時（雨天中止）として、
- ・ 最初から最後まで参加しなくても良い。時間内に自由に参加できるようにする。
- ・ 作業の後にミーティングを行ない、作業内容などについて話し合う。
- ・ 収穫物は、帰りに参加者で平等に分ける。
- ★ 定例活動日でなくとも、自由に農作業できる。
- ★ 2025、26年度の定例活動にはコーディネーターが参加し、一緒に作業しながらアドバイスも行う。
- ★ 情報の共有や連絡にはLINEグループや掲示板を利用する。
- ★ 年8回の栽培講習会やサツマイモ収穫祭などイベントを行なう。

主催者の「案」をたたき台にして参加者みんなで話し合い、下記のようなご意見をいただきました。

個人区画と交流区画の関係について

- ・ 今の南平市民農園では、雑草が生い茂っている個人区画もある。それぞれ事情があるだろうから、そうしたところを交流区画のみんなで草刈りするのは良いと思う。困ったときには助け合いたい。
- ・ コーディネーターの存在も大切だけれど、最初のルール決めが重要だと思う。たとえば「個人区画の雑草が生い茂った場合には、交流区画の参加者などが草刈りを行なっても良い」などと。

活動日について

- ・ 平日は仕事や学校があるので、毎週土曜日9～12時でOK。（土曜の朝はゆっくりしたいので、できれば日曜がよい、との声もあり）
- ・ 遅刻や早退などは自由。ゆるやかなコミュニティにしたい。
- ・ 活動日以外にも作業したい。
- ・ 夏野菜など週1回の活動では間に合わないときは、行ける人が作業する。収穫が多すぎたらLINEで連絡する。

定例活動に遅刻・早退しても、収穫物は平等に分けることについて

- ・ いろいろな感じ方をする人はいるだろう。
- ・ 自分たちで育てた野菜をもらうのも嬉しいけれど収穫物もらうための労働だとは思わない。
- ・ ある意味で、農作業はコミュニティに参加するための活動なので、遅く来た人にも同じように収穫物を分け合って良い。

情報の共有について

- ・ ミーティングが大事！ 作業の後にコーディネーターと次週の必要作業を出し合う。
- ・ ホワイトボードを設置して、作業内容などを書いておくのも良い。
- ・ LINEグループをつくると、作業内容や報告、写真の共有などに便利で良い。

道具について

- ・ 大型農具のみの共有でよいのではないか。
- ・ 押し切りは子供が危険なので不要。代わりに柄の長い剪定バサミが使いやすい。
- ・ 収穫ハサミは植物の病気感染の恐れがあるので、共有はしない方がよい。
- ・ ジョーロも、人によっては活力剤など使ったりするので、共有はあまり好ましくない。
- ・ みんなの道具なので手入れはしっかり行い、長く使いたい。
- ・ 手入れのルールを分かりやすく、初めから決めておきたい。



いつも会場を彩る花は、コミュニティガーデンから採ってきたもの。そして、2色のスイートポテトとローゼル＆レモングラスのハーブティーは手作り。これも畑の恵みです。「おいしい!!」と大好評でした。

今後のワークショップの予定

第4回：11/16(土) 10:00-12:30 @南平体育館「来年の計画を立てよう！」

途中回からの参加も大歓迎!!

お問い合わせ・お申込み

一般社団法人TUKURU hinotukuru@gmail.com

メールでお申込みの際には①氏名（ふりがな）②電話番号③住所をご記載ください

日野市委託事業（日野市産業スポーツ部都市農業振興課）



こちらからも申し込み可能

